

北海道内航海運組合が組合員研修会を開催

平成31年3月6日（水）於:札幌市・ホテルポールスター札幌

北海道内航海運組合（澁田正盛理事長・澁田海運(株)社長）は平成31年3月6日（水）理事会終了後、平成30年度組合員研修会を札幌市において総勢60名が参加し開催されました。

開会挨拶にたった澁田理事長は「日本はインフラ整備が大変遅れている。報道機関により公共工事が悪者だとのイメージが定着してしまっただが、日本が発展するためには港湾・道路等の設備改善が必要であると言うことを、我々の方からも発信していく必要がある」と挨拶されました。

当日はお二人の講師をお招きし、国土交通省海事局内航課専門官・望月信孝氏による「内航海運の現状と今後の展望について～内航未来創造プランの進捗状況～」、国土交通省北海道運輸局海上安全環境部首席海事技術専門官・阿曾 薫氏による「プッシュバージの安全規制の強化」について懇切丁寧な説明を頂きました。

特にプッシュバージの安全規制に関しては、過去にも数度研修が行われておりますが、組合員の関心が高く今回も熱心な質疑応答が行われました。

講演終了後、挨拶に立った藤井肇全海運会長は「暫定事業終了後の組合組織・事業のあり方について、鋭意議論を進めているが未だ何も決まっておらず、結論（方向性）が出るまで今暫く猶予頂きたい。」と挨拶し、研修会は終了致しました。

その後 場所を移して懇親会が開催され、和気藹々の裡に一連の行事を終了致しました。



開会挨拶をする澁田理事長



国土交通省海事局内航課 望月専門官



阿曾首席海事技術専門官



挨拶する藤井全海運会長



熱心に受講する組合員の皆さん



和気藹々の懇親会風景